

HELLO コープ

2016 夏号

No.149 (年5回発行)



佐々長醸造(株)のみなさん。
クラシック音楽が流れる、
みそ樽がある蔵にて。



2~3 ページ **これいいね！ラブコープ商品**
coop だし入り県産みそ

みそ玉レシピ
も紹介♪



詳しくは3ページを
ご覧ください。

今号の商品プレゼント

表紙の商品を含む佐々長醸造
製造のアイコープ商品セット
を5名様に



4~7 ページ **特集**

第27回いわて生協通常総代会報告

8~9 ページ **いわて生協の復興支援活動**

2016年4~6月の活動報告

10 ページ **コープでいきいき生活**

ケアシューズで悩みを解消！外出を快適に♪

11 ページ **楽育しましょ！**

消しゴムはんこ作り！

14~15 ページ **今日からつくれる役立ちレシピ！**

夏におすすめ！さっぱりメニュー

1,000円分の商品券が当たるクイズは16ページに掲載！



いわて生協は、オフィシャルサポーター
として希望郷いわて国体・希望郷いわ
て大会を応援しています。



2020年ビジョン ～私たちのありたい姿～
助けあい、支えあい、ともにつくるくらしの安心



バックナンバーや
取材ごぼれ話も
ホームページで
いわて生協 検索



“みそ”の風味をしっかり味わえます!

こだわり品質 **coop** だし入り県産みそ

発売以来人気の「アイコープ県産みそ」に、かつおと昆布のだしを加えて新開発!
風味豊かなみそ汁が、簡単・便利に作れます。みそ汁のほかにもいろんなメニューに使えますよ!

私がコープ商品・産直品の
魅力を発信するよ!



ココがミソ!

- ① 県産大豆、国産米、国産塩で作った「アイコープ県産みそ」を使用!
- ② 製造委託先は、佐々長醸造(花巻市東和町)。「アイコープつゆ4倍」なども製造。
- ③ かつおと昆布のだし入りなので簡単・便利!

4月28日発売



原材料: 大豆(岩手県産: 遺伝子組み換えでない)、米、食塩、こんぶエキス、かつおぶしエキス、かつおぶし粉末、酵母エキス/ 静菌剤(アルコール)、調味料(アミノ酸)



だし入り県産みそ

750g

本体価格 **498円** (税込537円)

夏バテ防止!

食欲アップ!!

焼きおにぎりに!

冷や汁焼きおにぎりに!

★レシピは左ページを見てね

私が開発しました!



佐々長醸造(株)(花巻市東和町)
営業推進部課長
みそソムリエ
佐々木洋平さん

だし入りみその製造は県内初!

みそ全体の消費量が減っている中、簡単にみそ汁が作れる「だし入りみそ」は利用が増え続けています。今まで、だし入りみそは製造したことがありませんでしたが、県内初の試みにもなるので、思いきって工場に機械を導入しました。

アイコープ県産みそを使用

みそは、県産大豆、国産米、国産塩で作っている「アイコープ県産みそ」を使用しました。

このみそは当社が製造しており、ベートーベンの「田園」が流れる蔵で、自然のまま、ゆつくりと、発酵・熟成させる「天然醸造製法」で作っています。クラシック音楽を聴かせることで酵母が活性化し、より熟成してうま味が増すのです。



coop 県産みそ



5月10日、ベルフ八幡平にて佐々木さん自ら「アイコープだし入り県産みそ」をお湯に溶かし、試飲おすすすめ。

どんな具材にも合う かつおと昆布

初めての「だし入りみそ」作りで一番苦労したのは、みそとだしのバランスでした。みそが強すぎると塩っ辛くなるし、だしが強すぎるとみそのおいしさが伝わらないからです。そして、だしには、みそ汁にしたときに、どんな具材にも合うように、「かつお」と「昆布」を入れました。

いっしょに開発した組合員さんたちに「家でだしをとって作ったみそ汁に近いね」と、評価いただけるものになりました。

みその風味をしっかりと感じられ、また、どんな具材にも合うだしで仕上げた「アイコープだし入り県産みそ」。手軽で便利に美味しいみそ汁が作れますので、ぜひ、ご利用ください!

おすすめ
レシピ

夏バテもこれで解消！
冷や汁&焼きおにぎり

●材料（4人分）

ごはん……400g だし入りみそ……適宜
水……300cc きゅうり…… $\frac{1}{2}$ 本
好みの野菜（きゅうり、ミニトマト、みょうが、
青じそなど）……適宜
A（だし入りみそ、白すりごま……各大さじ2）

●作り方

- ①ごはんを4等分しておにぎりを作り、
みそをぬり、表面を軽く焼く。
- ②ボウルにAを入れ、水を加えて溶かし、きゅ
うりの薄切りを加える。
- ③器におにぎりを盛り付け、②を注いだらお好
みの野菜をトッピングしてでき上がり。

あっという間にみそ汁が！
いろいろみそ玉



●材料（1人分）

だし入りみそ……小さじ2
好みの具材（とろろ昆布、ねぎ、乾燥わかめ、
湯通したオクラなど）……適量

●作り方

だし入りみそに好みの具材を混ぜて、丸める
だけ！

★みそ玉を器に入れ、お湯を注いで溶かすだけ
で“みそ汁”ができます。

★保存期間は、冷蔵庫で約1週間、冷凍庫で約1か月。

今号の商品プレゼント 5名様



佐々長醸造（株）製造のアイコープ商品
セット（約1,800円相当）

※「商品プレゼント係」と明記し、17ページ下の
応募方法・あて先を参照の上、ご応募ください。

応募締切 8月3日（水）

みそのおいしさが
伝わる味です！

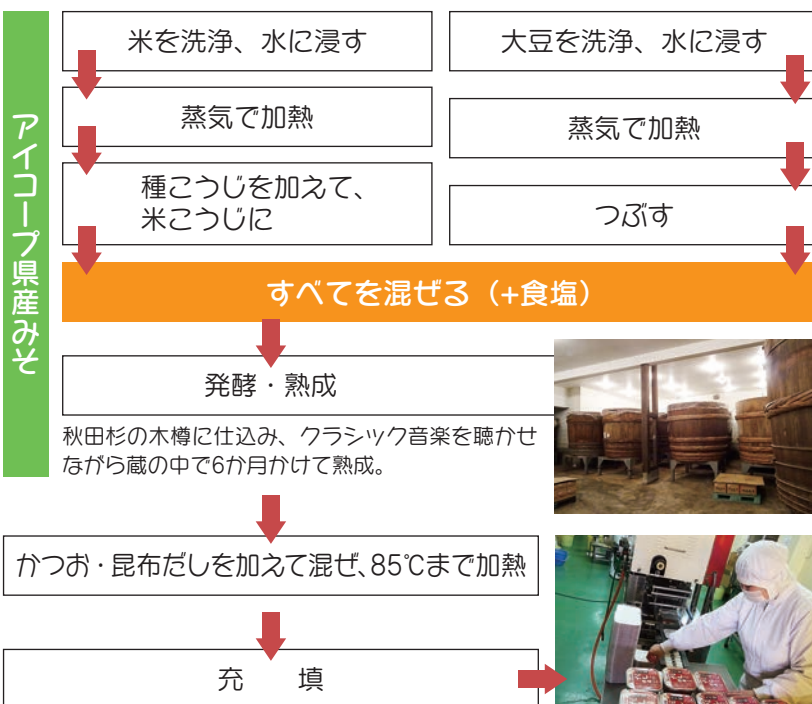
私たち全員が、自分で
だしをとっているの
で、「だし入りみそ」を使っ
たことがありませんでした。
そのため、味にはうるさ
く、「市販のだし入りみそ
は、だしの味が前面に出
すぎている」「アイコープ
の県産みそを使うのだから、
もっと“みそ感”のある
ものにしたい！」と、み
そとだしのバランスに悩みながら味を決めました。私たち
の自信作ですので、ぜひ、お試しください！

私たちが開発に
参加しました！



けせんコープ「アイコープ商品
つくってみる会」のみなさん

アイコープだし入り県産みそができるまで



パッケージのシール貼りやふたを
かぶせる作業は、一つひとつ
手作業！

佐々長醸造株式会社

（花巻市東和町）

1906年（明治39年）
創業。アイコープ商品
の製造は約30年前か
ら。岩手県産の大豆や
小麦、米などを原料に、
豊富なミネラル分を含
んだ天然の湧水“早池
峰霊水”を使い、みそやしょうゆなどを製造。手間
ひまを惜しまない昔ながらの作り方で“佐々長の味”
を守り続けている。



できあがり





助けあい、支えあい、ともにつくるくらしの安心

生涯をととして組合員のくらしに役立つ生協をめざして

6月8日、組合員の代表である総代482人（代理・書面を含む）が県内各地から参加し、「第27回いわて生協通常総代会」を開催しました。

この3年間、いわて生協では「第7次中期計画」を着実にすすめ、ふだんのくらしに役立つ事業、特に高齢者のくらしを支える取り組みが大きく前進しました。今総代表会では、こうした3年間の成果と、くらしや地域・社会の大きな変化をふまえ、これからの計画として「2020年ビジョン」を補強し、「第8次中期計画」「2016年度計画」を決定しました。

“生涯をととして組合員のくらしに役立つ生協”をめざして、23万6千人組合員の協同の力を強めて“だれもが安心して暮らせる社会・地域づくり”をすすめていきましょう。



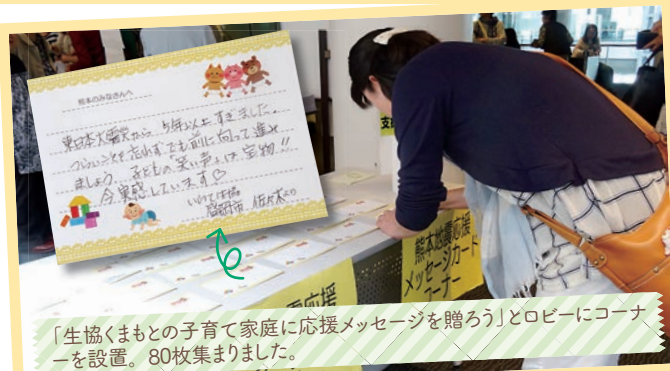
真剣な計議の合間に、笑顔がこぼれる場面も。



8つの議案すべてを「全員賛成」で可決しました。



「震災時は福島に。自然エネルギーへの思いを強くしました」と風力発電名称募集に入選した滝村梢さん。



「生協くまもの子育て家庭に応援メッセージを贈ろう」とロビーにコーナーを設置。80枚集まりました。

通常総代会までの取り組み

多くの組合員の参画で計画をつくってきました。

10～11月 秋のコープのつどい・お茶会

つどいは385会場に5,753人が参加、お茶会は1,145か所で開催し、くらしの願い、生協への期待について話し合いました。

2月13～29日 コープ懇談会

県内43会場に2,499人が参加。セリオ、夕食宅配サービス、風力発電などへの期待・要望が多く出されました。

5月2日～ 通常総代会提案内容のお知らせ

5月24～29日 コープ総代会

16コープ（地域）で開催し1,455人が参加。活発に話し合わせ、当日会場での発言は82件でした。

6月8日 通常総代会

総代482人と、こ〜び委員などオブザーバー、役職員含め580人が参加。会場発言は9件ありました。

2015年度の事業の結果

みんなの利用で黒字決算に

供給高は、386億2,565万円（予算比96%）でしたが、当期剰余金は1億7,337万円（予算比203%）を確保することができました。

黒字決算となりましたので、4年連続で出資配当（0.2%）を実施しました。また、第8次中期計画で掲げたくらしの願いの実現と経営基盤をいっそう強めるために、「法定準備金（自己資本）」と「減損積立金」を積み立てました。

第7次中期計画(2013～2015年度)の到達点

葬祭事業「セリオ」では、3ホールを開設。

2013年度に「セリオホール牧野林(滝沢市)」、2014年度に「セリオホール磯鶏(宮古市)」「セリオホール仙北(盛岡市)」を開設しました。



店舗事業では、新店2店舗をオープン！

2013年度に「ベルフ八幡平」を、2015年度に「コープ花巻あうる」をオープン。「高齢者にやさしい店づくり」もすすめました。



共同購入の利用を着実に広げ、さらに広げる基盤整備も実施。

3年間で4万5千人の仲間づくりをすすめ、毎週の利用者は7万人に。盛岡南センター新設など、全県にさらに広げる基盤も整備しました。



「高齢者見守り協定」を県内29市町村と締結。

全33市町村との締結をめざし取り組み、29市町村と締結。この3年間で、異変に対応した事例は51件となり、家族や市町村からも感謝されています。



組合員数は23万3千人に！

3年間で4万5,101人の組合員を増やし、世帯加入率は44%から45%に、出資金は82億5千万円に増えました。



高齢者のくらしを支える新事業「夕食宅配サービス」をスタート！

2013年度6月に盛岡エリアからスタート。2015年度末までに、11市町に拡大し、1日1,354食まで広がりました。



「原発に依存しない事業とくらし」をめざした環境活動を推進。

施設照明のLED化など節電の取り組みをすすめたほか、16事業所への太陽光発電設置や風力発電計画など、再生可能エネルギーの活用拡大に取り組みしました。



子育て世代の願いにそった活動を積極的に展開。

子育て世代の願いにそった活動として、2014年度から「ハピママコープ」をスタート。各コープでの企画も増え、子育て活動への参加は、この2年間で7千人に広がりました。



被災地に寄り添った支援活動を継続。

「買い物支援」「なりわい・仕事づくり支援」「笑顔と元気を届ける活動」の3つの柱で、被災地のくらしを支えてきました。



「2020年ビジョン」制定から3年。見直し、補強しました。

★「2020年ビジョン」って？

「2020年のいわて生協はこうだ」といいな」と組合員みんなでビジョン(未来像)を描き、めざしたい姿と3つの重点分野・課題をまとめたもの。2013年6月の第25回通常総代会で「第7次中期計画」とともに決定しました。

★どうして見直し、補強したの？

この3年間、たくさんの成果があった一方で、消費税の増税をはじめ少子高齢化もさらにすすむなど、私たちのくらしや地域、社会も大きく変化しました。そこで計画を見直し、「各部の事業と活動をもっと連携させて組合員のみなさんのくらしを生涯とおして支える視点」などを補強しました。

「第8次中期計画」とその初年度としての「2016年度計画」

「2020年ビジョン」で掲げた「助けあい、支えあい、ともにつくるくらしの安心」をめざして！

重点
1

ふだんのくらしにいつそう役立ち、
生涯をとおりて組合員のくらしを支える事業

共同購入事業

組合員のくらしと地域に、
より貢献することをめざします。



- 共同購入事業を県内にさらに広げ、将来への基盤づくりをすすめます。共同購入利用者（OCR発行）は7万8千人（15年度6万9427人）をめざします。
- 商品を通して、生協ファンづくりをすすめます。注文内容をメールでお知らせするサービスをスタートします。



- 広げ1日2600食（15年度1354食）をめざします。16年度は、釜石・けせん（4月に開始）、のへ・久慈地域で開始します（6月27日開始）。
- 灯油事業は適正価格と安定供給のための運動を継続し、県内シェア率12%（15年度10%）をめざします。
- 住まいと暮らしのサービスは、高齢者が安心して生活できる住宅サービスを充実します。
- 高齢者見守り活動は全33市町村との協定締結をすすめ、地域貢献の向上に取り組みます。
- 配達業務を通じて把握したくらしの困りごとを、各事業や組合員活動につなぎ、連携して組合員のくらしに役立つ取り組みをすすめます。16年度は盛岡エリアでスタートします。

店舗事業

満足いただける店づくり
をすすめ、黒字をめざします。



- 生鮮・惣菜の地域一番店づくりに取り組みます。
- シニア世代、子育て世代に対応した商品政策・店づくりをすすめます。要望の多い減塩・ローカロリーなど健康配慮商品の取り扱いを拡大します。
- 16年度「どこでも当日」お買い物割引券発行をスタートします（7月21日スタート）。
- 「産直品」「アイコップ商品」の開発と供給を通じて、地元生産者・メーカーを応援します。16年度、アイコップ商品は10品目の開発・改善を計画します。

共済事業

助け合いの輪をさらに
広げ、保有件数11万件
（15年度10万6346件）
をめざします。



- 全国840万人の加入の力で、3年連続の商品改定を行います。16年度は、先進医療特約の新設、「ジュニア18コース」の満期年齢・加入年齢の延長などをお知らせし、加入を広げます。
- 共同購入は推進体制をさらに強化します。
- 店舗は独立型共済カウンターの4店舗広げ、5店舗とします。16年度は、コープアテルイに導入します。

通常総代会で出された意見・質問と、
理事会からの回答を一部紹介します。

質問

夕食宅配のお弁当が栄養バランスもよく好評だと聞きます。配達エリアが狭いと感じますが、今後、拡大の予定はありますか？



古舘文江さん
（釜石コープ）

理事会からの回答

夕食宅配サービスは、間もなく1日当たり1500食に届くところです。配達エリアは共同購入センターから車で20分圏内からスタートしていますが、ご利用者の増加にあわせて範囲を拡大してきています。また、このサービスは、平日は毎日ほぼ決まった時間にかがいますので見守りの効果も大きく、大変喜ばれています。

要望

移動店舗「にこちゃん号」は、買い物はもちろん、商品の情報交換や安否確認の場になっており、日々の生活に欠かせないものになっています。被災地では住む場所が変わってきているので、今後もコースを増やしてほしいです、継続してほしいです。



及川恵里子さん
（けせんコープ）

理事会からの回答

移動店舗は15年度は、けせん、釜石・大槌地域で週3回から2回訪問に変更し、要望の多い災害公営住宅での販売場所を増やします。

重点
2

だれもが安心して暮らせる
社会と、人と人が支えあ
いつながる地域づくり

「東日本大震災」復興支援活動

- 多くの組合員・常勤者が力を合わせ、変化する被災地・被災者に寄り添った支援活動を継続します。
- 「買い物支援」「なりわいづくり支援」「笑顔と元気を届ける活動」の3つに加え、「震災を風化させない活動」の4つの柱で活動します。

組合員活動

- アイコップ商品・産直品、コップ商品を知りよさを実感し、組合員と常勤者がいっしょにそのよさと利用を広げます。
- 地域でのつながりや、いきいきとした暮らしが広がることをめざし、シニア世代・子育て世代の願いにそった活動を広げます。
- 安心して暮らせる社会をめざし、食・環境・平和・くらしを守る運動を、多くの組合員や団体と協力してすすめます。
- コップフードバンクの活動を広げます。
- 「明るく・元気に・楽しく・共感や挑戦する活動」をめざし、組合員活動に参加する人を広げます。

重点
3

地域から信頼され
評価される元気な
組織づくりと健全
経営の維持発展

- 事業継続に必要な人材を確保し、魅力ある組織づくりをすすめます。
- 経常剰余2%の確保をめざし、健全な経営を進めます。

定款の一部改定を行いました

いわて生協の事業区域を隣接する青森県、秋田県、宮城県を含め4県に拡大となります。4県に住所勤務先がある方は、組合員としていわて生協を利用できるようになります。

これからの2年間の役員を決めました

事業・運動の執行にあたる役員の任期(2年)満了に伴い、役員の改選を行い、理事28人、監事5人を選出しました。総代会後、第1回理事会を開催し、理事長には飯塚明彦、副理事長には内澤祥子、専務理事には金子敏明を再選しました。常務理事(常勤)は1人減の2人体制となりました。

介護・福祉事業



利用者を年間8200人に
広げます。

- 16年度は、福祉用具レンタル・販売のサービス提供地域を矢巾町・紫波町に広げます。
- 他の事業や組合員活動との連携を含めて、「くらし支援サービス」の普及・充実に推進します。
- センターを新設・移転し、地域でのくらし支援サービス提供の場としても役立てます。

葬祭事業



要望に応じて3年間で6
ホール増やし、14ホールを
めざします。

- 16年度はセリオホール岩泉を開設し、さらにあと1ホールの新設をめざします。
- セリオのよさを組合員といっしょに伝え、「セリオ積立」参加者を増やします。
- 「終活」をテーマに、介護・福祉センターや保険センターと協力し、企画を開催します。

環境分野

原発に依存しない事業
とくらしをめざし、再
生可能エネルギーの活
用とCO₂排出量削減
をすすめます。



- CO₂排出量は、18年度に「05年度比29%削減」を目標にします。
- 事業所の電力を全て再生可能エネルギーによる発電でまかなえるよう取り組みます。16年度は、日本生協連の新電力会社「株式会社地球クラブ」からの電力購入(4月)、野田木質バイオマス発電(8月)・秋田羽川風力発電(10月)の稼働などで、使用電力の60%に、18年度には94%とします。

- 「アイコップ商品」「産直品」を、輸送エネルギーの節約になる環境にやさしい商品として利用を広げます。
- 組合員のリサイクル参加を増やします。リサイクルセンターを建設し、再資源化をすすめます。
- 組合員とともに、「コップの森づくり」への参加や再生可能エネルギーによる電力を選ぶ人を広げます。

要望

「食品添加物」について、より深く学びたいので講演会や学習会の開催の検討をお願いします。

理事会からの回答

いわて生協では、2013年に「食品添加物自主基準」の見直しを行い、「秋のコップのつどい」で学習したり、機関誌ハローコップで特集したこともありましたが、確かにこの間、学ぶ機会が少ない状況でした。今後、この委員会をはじめ、子育て世代や新しい組合員のみなさんが学習できるよう計画をつくり、すすめます。



菊地 恵さん
(水沢コップ)

た。仮設住宅からの転出が進んでいるため、ご利用は年々減ってきていますが、「継続してほしい」とのご意見・ご要望をたくさんいただいております。被災地の状況変化に合わせてコースの見直しをし、地元の要望も聞きながら継続していきます。ぜひ、みんなで利用も増やしていきたいです。

5月21・22日開催

第7回 ベルフ牧野林 復興支援・地産地消フェスタ

「沿岸をはじめ、岩手のものをみんなで利用して復興支援を！」と今年も開催。沿岸からの23団体を含む57団体が出店し、2日間で1万9千人が来場。出店者の復興へのがんばりが、来場者に元気と勇気を与え、商品の利用につながりました。また、6月18・19日には、ベルフ八幡平でも第2回復興支援・地産地消フェスタを開催。沿岸の商品がたくさん利用されました。

「復興支援・地産地消フェスタ」今後の予定

9月10・11日

コープアテルイ
(奥州市)

9月24・25日

コープ関コルザ
(一関市)

10月15・16日

コープ花巻あうる
(花巻市)



「工房めぐ海のおやき、もちもちの生地おいしいのよ」と買い求める人たち。

晴天に恵まれ、大いに賑わいました。



いわて生協の 復興支援活動

忘
れない

伝
える

続
ける

つ
ながる

2016年
4～6月の
活動報告

復興へ！

地元のもので、みんなに
愛される商品を！

広田半島宮農組合 陸前高田市
工房めぐ海

米粉を使った生地、地元産のわかめやほたて、リンゴなどの具を入れた「おやき」や、がんづき、餅などを製造・販売しています。
「自分たちで作った米や野菜、地元の海産物をいかした特産品を」と2010年秋に営業を始めたのですが、東日本大震災の津波で加工場もレシピも流され、途方に迷いました。



「これからは地元のものを使い、みなさんに愛されるものを、新しい商品や新しい味を作っていきたいと思っています」と、村上安江さん、臼井美奈子さん、佐藤八千代さん（左から）。

広田半島宮農組合 工房めぐ海

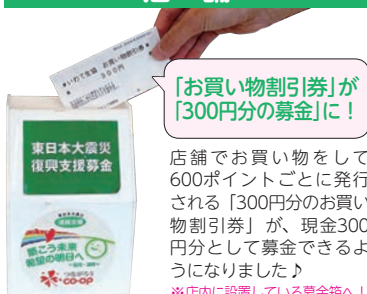
2009年に約100戸で宮農組合を結成、翌年「工房めぐ海」を開設。11年の東日本大震災で半島全体が被災したが翌12年に加工場を再建し、製造を再開した。現在メンバーは7人。昨年秋に、地元産生姜入りのおやき、地元産古代米とゆずを使った「ゆず大福」を新発売した。

■「工房めぐ海」の「おやき5種各1個（冷凍）」を、共同購入・7月4週号「あいぱく」でご案内（7月11日から注文書回収）予定。



でも、「みんなががんばりましょう！」と再起を決意。多くの方々のご支援もあり、翌12年5月に加工場を再建。「みなさんに愛されるものを作っていこう」とがんばっています。
ベルフ牧野林のフェスタへの出店は、今年で3回目。昨年は参加できなかったのですが、「今年は出店してよかった！『おやき』のファンなの」と言ってくださる方もいて、うれしかったです。
今後のフェスタにも、日程が許す限り参加したいです。また、共同購入では「冷凍おやき」を取り扱っていただけるようになりましたので、ぜひご利用ください！

店舗



「お買い物割引券」が
「300円分の募金」に！

店舗でお買い物をして600ポイントごとに発行される「300円分のお買い物割引券」が、現金300円分として募金できるようになりました。
※店内に設置している募金箱へ！

共同購入

OCR注文書の6桁番号記入欄に、下記の番号と口数を記入します。毎月の共同購入代金と一緒に、来月3月まで自動的に募金に協力できます。

1口 100円	毎週	2	5	1	9	9	9
	隔週	2	5	2	9	9	9
	月1回	2	5	4	9	9	9

OCR注文書で募金の「利用登録」を！

※OCR注文書左上の「募金欄」に口数を記入すると、その週の分として募金ができます。

今年度の 東日本大震災 支援募金

201万7,356円
(3月21日～6月9日)

支援活動を支える募金に、引き続きご協力ください！

3月21日、4月2・3日

バスボランティアは田老町漁協へ！

「産直真崎わかめ」の箱詰め作業をお手伝い

今年度のバスボランティアは、最初（通算150回目）の3月21日と、4月2日、3日の3回連続で田老町漁協へ。合わせて123人（うち64人はいわて生協職員）のボランティアが、水揚げ後に加工された真崎わかめの箱詰め作業を手伝いました。



田老町漁業協同組合（宮古市）
JFたろう加工場 主事
まもる 山本 護さん

大勢のボランティア
に感謝しています！

東日本大震災後、わかめの収穫は今年で5回目。3月8日から4月12日まで、湯通しから箱詰めまでの作業を行いました。水揚げ量は前年並み（震災前の約7割）で、品質は上々でした。

わかめは、水揚げ後すぐに湯通し、冷却、塩まぶし、漬け込みをし、翌日に脱水、翌々日に箱詰めを行います。中でも人手のかかる箱詰め作業は、震災後、田老町地区では年々人口が減少しているため、アルバイトの人数確保が困難です。今年は20人と以前の半分で、作業が滞り困っていました。大勢の方々の手伝っていただき、本当に助かりました。産直の絆に感謝です！



参加した仲良しのお二人。

「3行レシピ」を使った
昼食会は
とってもにぎやか♪

被災地支援活動担当（けせん地域）
飯塚郁子さん

5月23日、大船渡市内の小さな仮設団地で、参加者2人、仮設住宅支援員2人、私たちボランティア4人の計8人で、おしゃべりの絶えないにぎやかな昼食会を開きました。

メニューは「3行レシピ集⑤」から「わいわいみんなの手巻きパーティー」。レシピ集のとおり、みんなの好きなものや家にあるものをいろいろ並べました。

ボランティアが好みの具をのせて手渡すと、お二人は楽しそうに巻いては口に運んでいました。「みんなとのにぎやかな食事が楽しみ」とおっしゃいます。



「だれでもできる」ことを大切に、アレンジしやすいものがたくさん載っています。

ボランティアが好みの具をのせて手渡すと、お二人は楽しそうに巻いては口に運んでいました。「みんなとのにぎやかな食事が楽しみ」とおっしゃいます。

まもなく災害公営住宅へ引越す予定の方は、「引越したら、またひとり。不安なんだよね」と。もうおひとりとは、「体調を崩して入院してから、何もする気がなくなった」と言い、次の住まいをどうするか、気持ちが揺れています。

お二人のようすは、他の仮設住宅に住む高齢の方と重なります。今年度は災害公営住宅や再建された自宅への転居がかなり進むと思われますが、高台の造成がまだままだのところもあり、「あと3年は仮設住宅がなくなることはない」と聞かれています。



好みの具材をのせて、巻いて。「卵焼きが好きなの」「おいしいね〜」とおしゃべりが絶えません。

支援活動
だより

こぐさ委員会資料
「まなびのmoto」
より転載

東日本も九州も、
一日も早い心の安定を



被災支援活動担当
（釜石地域）
福士久美子さん

4月に発生した熊本地震には驚きました。東日本大震災発生当時、私たちはテレビを見ることもなく暮らしていました。今回のテレビ映像を見ながら、「（東日本で）被災したみなさんがこの映像を見たら、当時の辛さを思い出すのでは」と心配になりました。

その後開いた「ふれあいサロン」では、みなさん口々に九州の話や、被害を気の毒に思い募金したことなどが話題になりました。

昨年の「防災学習会」で、「日本は国土の約35%が災害リスク地域。国民の約74%が災害リスク地域に住んでいる」と学びましたが、日ごろからの防災意識や備えが大切なことを再認識しました。

私の周囲には、熊本地震後に気持ち落ち込んだ方が実際にいらっしゃいます。また、「九州が大変だから、こつちまで手が回らなくなるべ」と話す方も。東日本も九州も、被災された方々の一日も早い心の安定を願うばかりです。

※いわて生協の「熊本地震支援活動報告」は、13ページに掲載しています。そちらもご覧ください。